

令和5年度 第57回 神奈川県中学校総合体育大会
第75回神奈川県中学校バレーボール大会

審判上の注意

- 1 本大会は2023年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則および(公財)日本中体連バレーボール競技部取り扱いに従って行う。
- 2 プロトコール時に監督がリベロ指名とサインを行う。ラインアップシートは公式練習が設定されている場合は公式練習終了前に提出、公式練習が設定されない場合はチームキャプテンのトスの後、速やかに提出する。セット間および試合終了後にラインアップシートは返却しないので、セットごとに新しいシートを提出すること。
- 3 各セット開始時のゲームキャプテン挙手(スターティングメンバーにチームキャプテンが含まれていない場合を除く)反則を吹笛した場合の該当選手の挙手は必要ない。
- 4 今までの試合に関係なく、リベロのユニフォームが対照的でないと判断された場合、リベロジャケットの着用を指示する場合がある。
- 5 リベロリプレイメント時に該当選手の挙手やサイドラインでの一時停止は必要ないが、該当の2人の選手は「すれ違うように」リプレイメントすることを心がける。
- 6 ボールデッド後は速やかにボールを拾いに行き、同時に次のサーバーはサービスゾーンへ向かうものとする。ボールデッド後、次のサービス許可の吹笛までは8秒が原則である。これを妨げるようなコート外への飛び出しや、控え選手やベンチスタッフとのハイタッチ等は遅延警告の対象となる。
- 7 試合中のワイピングはチームの責任である。「コート上の選手全員がタオルを持ち」コートが濡れた場合は「全員で速やかに」拭くのが原則である。タオルを持っている選手が少数、または拭いている選手が少数などで時間がかかっていると判断した場合、遅延警告の対象となる。タイムアウトやセット間を除いてチーム判断でモップを入れることはできず、モップを入れるか否かは審判の指示によるものとする。試合環境によっては1試合や1セットでタオルが濡れることが考えられるので、必ず予備のタオルをベンチに準備すること。
- 8 本大会は全試合、給水のためのタイムアウトを実施する。各セットで一方のチームが13点に達した時に、副審の吹笛で30秒間のタイムアウトを適用する。給水場所はアップゾーン内またはその付近とする。給水のためのタイムアウトの際、監督及びコーチはベンチに着席を必須とする。3セット目はBサイドの選手がコートチェンジし、最後の選手がAサイドベンチ側のサイドラインを過ぎた段階で、副審が30秒の計時を開始する。リベロリプレイメントやサブスティテューションの要求は、給水のためのタイムアウト終了後に受け付ける。
- 9 男女各1日目(7月28日・29日)の審判および生徒役員は次の通りとする。

| | 主 審 | 副 審 | 生 徒 役 員 |
|------|-------|-----------|---|
| 第1試合 | 派遣審判員 | 派遣審判員 | 第2試合の両校…SC1名、AS2名、LJ4名、点示2名 |
| 第2試合 | 派遣審判員 | 第1試合敗者校顧問 | 第1試合敗者校…SC1名、AS2名、LJ4名、点示2名 |
| 第3試合 | 派遣審判員 | 第2試合敗者校顧問 | 第2試合敗者校…SC1名、AS2名、LJ4名、点示2名 |
| 第4試合 | 派遣審判員 | 第3試合敗者校顧問 | 第3試合敗者校…SC1名、AS2名、LJ4名、点示2名 |
| 第5試合 | 派遣審判員 | 派遣審判員 | 第4試合敗者校…SC1名、AS2名、LJ4名、点示2名 |
| 第6試合 | 派遣審判員 | 派遣審判員 | 第5試合敗者校…SC1名、AS2名、LJ4名、点示2名 |
| 第7試合 | 派遣審判員 | 派遣審判員 | SCは派遣審判員が担当するが、AS2名、LJ4名、点示2名は第6試合敗者校が担当する。 |

※第7試合は試合進行状況により、県役員を含めた大人が担当する可能性がある。

- 10 男女各2日目(7月30日)の審判および生徒役員は次の通りとする。
※第1試合と第2試合の敗者校が第3試合のLJ4名と点示2名の計6名を出す。

| | |
|------|--|
| 第1試合 | すべて派遣審判員と県役員で担当 |
| 第2試合 | すべて派遣審判員と県役員で担当 |
| 第3試合 | <u>第1試合と第2試合の敗者校がLJ4名と点示2名の計6名を出す。</u> |
| 第4試合 | すべて派遣審判員と県役員で担当 |

連絡先: 神奈川県中学校体育連盟バレーボール専門部審判委員長 木村 貴士
横浜市立末吉中学校 (電話)045-581-0813